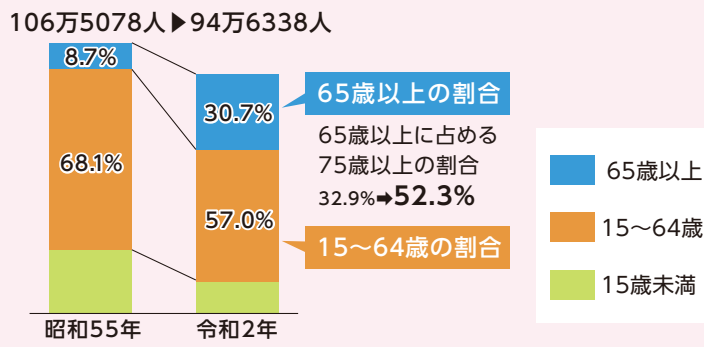


第2次北九州市いきいき長寿プランを策定しました

全国平均を上回る速さで高齢化が進む北九州市。市民要望でも「高齢社会対策の推進」は常に上位になつていきます。こうしたことを背景に、高齢社会対策のさらなる推進を図るため、「第2次北九州市いきいき長寿プラン」を策定しました。

■本市の人口及び高齢化率の推移



計画期間
令和3~5年度

基本目標
高齢者がいきいきと、安心して、暮らせる共生のまちづくり
〜人生100年時代の到来〜

施策の柱と主な取り組み
いきいきと健康で、生涯現役で活躍できるまち
高齢者が年齢に関わりなく、健康で、その能力を十分に発揮

し、社会を「支える側」として活躍できるまちづくりを進めます。

●スマートフォンやタブレットの設定や操作が苦手な高齢者を支援する地域人材を育てるとともに、その人材を養成する人材を育成します。

●「いつもの活動に運動プラス」を合言葉に、きたきゆう体操などの普及を図り、仲間と一緒に取り組む健康づくり・介護予防活動を支援します。

●健康づくり推進員や、きたきゆう体操普及員などの養成・支援と、専門職が関与する仕組みをつくり、フレイル対策を強化します。

●高齢者と家族、地域がつながり、支えあうまち

「見守る側」「見守られる側」に分かれるのではなく、それぞれができる範囲で支え合い、居場所と役割を持つ地域づくりを進めます。

●地域での見守りや支援の必要な高齢者に対応するため、「(仮称)地域交流・居場所部会」を設置し、地域交流の場や居場所づくりを推進します。

●認知症の人が、自らの言葉で自身の思いなどを発信する場づくりを進めます。

●住みたい場所で安心して暮らせるまち

高齢者が、それぞれの状態に応じて、必要な生活支援、介護などのサービスを活用しな

から、住みたい場所で安心して暮らせることを目指します。

●医療・介護・健診などの情報が医療機関で共有される「とびうめ@きたきゆう」の普及啓発・活用を進めます。

●若手介護職員が、自分の仕事に誇りとやりがいを持って、長く働ける職場づくりを支援します。

●高齢者施設などに感染症専門家が訪問して、感染防止対策の助言などを行います。

●成年後見制度の利用が必要な人に対し、本人の状況に応じた適切な後見人が選任されるよう、北九州市成年後見支援センターを中心に、関係機関との連携を強化します。

人生100年時代が到来しています。市では、このプランに基づき、健康寿命を延伸し、高齢期に至っても、誰もが地域とのつながりを持ち、住み慣れた地域で、人生の最期まで健やかに安心して暮らせる共生のまちづくりを目指します。

「第2次北九州市いきいき長寿プラン」の詳細はこちら



保健福祉局長寿社会対策課 ☎582・2407

東アジア文化都市北九州2020・21 ミニコーナー

市民文化スポーツ局 東アジア文化都市推進室 ☎582・2390

囲碁ファン必見!「本因坊戦」を開催

日本・中国・韓国で古くから多くの人に親しまれている伝統文化「囲碁」。

今回、囲碁界の七大タイトル戦の一つ「本因坊戦」第4局が、本市で8年ぶりに開催されます。10連覇を目指すタイトル保持者の本因坊文裕=井山裕太三冠に、挑戦者(4月決定)が挑みます。タイトルの行方を占う目が離せない一局になりそうです。

日時 6月10日(木)・11日(金)の9~17時
場所 アートホテル小倉ニュータガワ(小倉北区古船場町)
その他 碁盤を模した大きなパネルを使い、戦局を解説する「大盤解説会」あり。詳細は☎を。



本因坊文裕・井山 裕太 三冠
「コロナ禍という厳しい状況のなか、歴史ある街・北九州市で本因坊戦を開催いただけること、感謝しております。対局では自分のベストを尽くします」。



福岡市の催し

福岡市と情報交換をしています。

ミイラ「永遠の命」を求めて

南米、エジプト、ヨーロッパ、オセアニア、日本のミイラ、総数42体の展示。4月10日(出)~6月27日(日)(5月3日以外の月曜日と5月6日は休館)の9時30分~17時30分(入場は17時まで)、福岡市博物館(福岡市早良区百道浜三丁目、☎(092)845・5011)で。料一般1600円、中学・高校生1200円、小学生600円。土・日曜日、祝日の入場は日時指定チケットの事前予約を推奨します。詳細は西日本新聞イベントサービス内「ミイラ展」係☎(092)711・5491へ。

※広告の申し込みは(株)ホープ ☎(092)716・1404まで。 ※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。